

古城小だより

旭市立古城小学校
令和1年9月20日
NO. 12



豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子の育成



台風15号の爪痕は大きく、現在でも旭市内では、電気の供給が安定していないところもあるようです。また、学校でも「給食の牛乳の提供が今月いっぱいはいできない」（9月18日市教育委員会メール参照）ということになり、お茶・オレンジジュース・ジョアなどで対応するそうです。

お陰様で古城小学校は、9月11日より平常授業がスタートしています。行事の日にもちや内容が多変更になりましたが、予定通りの活動が遅れています。ありがたいことです。上の写真は、昼休みの様子です。新しくなったブランコで遊ぶ、教師も一緒に遊ぶ、サッカーやバレーボール、鬼ごっこを楽しむ児童います。「古城っ子はよくあそべ」というスローガンで今年は頑張っていますが、子ども達の明るい声が響く学校は古城小学校が目指す学校像そのものです。

その他、校内・校外で様々な活動が行われました。

音楽会練習開始



通学合宿への参加



左の写真は、4～6年生の合同音楽の様子です。旭市音楽会（11月6日に予定）に向けての練習がスタートしました。講師に椎名美枝子先生をお迎えして、指導をいただきます。

右の写真は、通学合宿の写真です。5年生で参加した佐藤君が、3日間の感想を発表しています。今年は、5年生5名・6年生1名の男子がこの会に参加しました。新たな友達の良さを発見、他校の友達や様々な大人とかかわり、もらい湯、食事作りなど、協同生活から学ぶものは大きかったようです。



上の写真は、3・4年生が旭農業高校の畑で「秋ジャガイモ（でじま）の植え付け」を行っている様子と食育の大切さを高校生が説明してくれている写真です。この中には、高校2年生の古城小学校の先輩もいました。

「食育」の学習は、教科学習の枠を越え、自己の生き方、健康、食べ物への感謝、食文化や伝統の継承など、幅広い学習です。今回は、作物を育てることを通して食べ物大切さを学んでいこうという千葉県プロジェクトに参加しました。

子ども達は、イモの植え付け方や土の温かさなど農業に関する知識と技能を学び、作業を通して新たな気づきを得ました。また、あいさつや返事の大切さや、声を掛け合う・お願いするなどのコミュニケーションの大切さも同時に学びました。大変有意義な体験学習となりました。このイモは、約80日で収穫できるそうです。今から、次の体験が楽しみです。

1年生は、家庭教育学級の「親子遠足」に行きました。ここでも台風15号の影響が多少ありましたが、1年生の役員さんを中心に準備を進め、楽しい体験ができました。



古城っ子は夏も大活躍

優秀賞2名、旭市科学工夫作品展では素晴らしい成績を収めました。

科学工作の部 優秀賞 1年 小山 颯介さん 「ビー玉映写機」
科学論文の部 優秀賞 5年 大友 優希さん 「氷の不思議」

読書感想文コンクール 6名が佳作

1年 加藤 夢絆 さん 2年 林 栞和さん 3年 平山 心羽 さん
4年 石塚 兜人 さん 5年 野口 璃子 さん 6年 林 奏汰 さん

夏休み、各種大会で大活躍

全日本少年少女空手道選手権 4年女子形 5位 4年 佐藤 ほの さん
四街道市ミニバスケットボール大会 3位 } 共和MBC
香取市ミニバスケットボール大会 3位 } 6年 荒井 優菜さん 石塚子々さん